

第63回試験研究成果発表会_林業 発表概要

【動画配信期間】 令和8年3月27日（金）～令和9年1月5日（火）

【場 所】 YouTube「千葉県公式セミナーチャンネル」

発表1 成果発表

伐採更新地で発生する多様な獣害に対応した低コストで効果的な防護方法

森林研究所 小清水 百音

本県のダイコン出荷期間のうち、気温の高い4～6月において出荷後のダイコン表面に黒い斑点が発生する症状が見られ、流通関係者から改善が求められています。そこで、本症状の原因を調査したところ、ダイコン斑点細菌病による病害であることを特定しました。また、この細菌の伝染経路を明らかにしたので紹介します。



シカによる採食



ネット+ワイヤーメッシュの防護柵

発表2 成果発表

熱処理によるマテバシイ材の成長応力の低減と穿孔害虫被害材の強度特性

森林研究所 黒瀬 弘毅

千葉県のマテバシイ林は、木材利用のために植栽されたものですが、現在は放置林と化しています。マテバシイは木材加工時の狂いが大きく、木工品としての利用も盛んではありません。加えて、カシノナガキクイムシによる穿孔被害が生じ、木材の見た目が悪くなってしまいうことも、利用拡大への障壁となっています。木材利用の拡大につなげるために、熱処理による狂いの低減、穿孔被害材の特性把握を実施しましたのでご紹介します。



マテバシイ林の伐採現場



カシノナガキクイムシによる穿孔穴が生じているマテバシイ材

発表3 成果発表

森林情報管理のデジタル化に向けた低コストなオルソ画像の作成

森林研究所 福原 一成

ドローンやデジタル機器を活用したスマート林業の推進に伴い、森林行政、林業事業者もこれに対応していくことが求められています。しかし、森林情報管理の要となるドローンで撮影した画像からオルソ画像を作成する作業にはコストが掛かり、スマート林業導入の妨げとなっていました。そこで、安価な小型ドローンとフリーソフトを活用し、低コストな方法でオルソ画像を作成する方法を試験したところ、実用可能との結果が得られたので紹介します。



試験に使用した小型ドローン
(DJI 社製、Air2S)



QGIS を用いて、国土地理院電子地図上に
オルソ画像と森林整備地域の実測図

発表4 成果発表

少花粉ヒノキの着花促進処理方法とカメムシ防除袋の選定

森林研究所 宇川 裕一

本県では花粉症対策として、令和元年度に少花粉ヒノキミニチュア採種園を造成し、種子生産を開始しています。しかし、ヒノキのミニチュア採種園における効果的な着花促進処理方法や、種子を加害するカメムシの効率的な防除方法等の管理技術は確立されていません。そこで、効果的な種子生産に向けた少花粉ヒノキの着花促進処理方法と効率的なカメムシ防除方法を紹介します。



ヒノキミニチュア採種園



着花促進処理の状況